

音楽朗読劇

ハーメルンの笛吹きおとこ

第1部

古楽器アンサンブルで楽しむ むかしのヨーロッパ

ナビゲーター:広崎うらん、笠松泰洋

〔曲目〕グリーンスリーブス(イギリス民謡)

恋のうぐいす(F.クーブラン作曲)

トリオ・ソナタ(G.P.テレマン作曲)ほか

第2部

音楽朗読劇

「ハーメルンの笛吹きおとこ」(新作)

台本構成・作曲:笠松泰洋

演出・振付/出演:広崎うらん、公募の子ども達

朗読:鶴見辰吾 照明:倉本泰史



鶴見辰吾(朗読)

[演奏]

宇治川朝政(リコーダー)

三宮正満(バロックオーボエ,ズルナ)

福澤宏(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

福間彩(チェンバロ)

笠松泰洋(ズルナ)

2017年9月18日(月祝)

開場:13:00 開演:13:30

所沢市民文化センター ミューズ マーキーホール

全席自由 大人:¥2,500 (当日券¥3,000)

小学生以下:¥1,000 (2才以下の入場はご遠慮下さい)

☆ミューズチケットカウンター(04-2998-7777)にて販売中

☆シン中央会計事務所(04-2994-5080)にて販売中

主催:ところざわ俱楽部 (お問合せ先:稲村洋二 090-5530-4703)

後援:所沢市、所沢市教育委員会

協力:(公財)福井県文化振興事業団(2015年6月28日「ハーモニーふくい」にて初演)



広崎うらん
(演出・振付/出演)

40人の子役(所沢市在住)を大募集!

演出・振付/出演の広崎うらんさんのワークショップを事前に
開催します。演技が初めての人も安心して参加して下さい。

古楽器の魅力

古楽器は基本が室内で演奏される楽器です。そのために、音量は大きくないですが、とても繊細で美しい音色を持ち、これを聴くことは、最高の贅沢ともいえます。この美しさが評価され、当時の楽器で演奏することが一時のブームを超えた流れともなっています。そういった古楽器の魅力を、一流の演奏家によって、生演奏で楽しむコンサートです。

「ハーメルンの笛吹きおとこ」

後半は、誰でも一度は聞いたことがあるお話「ハーメルンの笛吹きおとこ」を古楽器のアンサンブルとともに上演します。

中世のドイツで実際にあったとされる言い伝えは世界に広まり、これまでにも様々な形で表現されてきました。今回は新しい研究も踏まえて台本を作り古楽器、ダンスを取り入れた、子どもも大人も楽しめる舞台作品にしました。

朗読は、大河ドラマでもご活躍の鶴見辰吾さんです。



笠松泰洋(かさまつやすひろ)
音楽家(台本構成・作曲)
[ところざわ倶楽部特別会員]

「ハーメルンの笛吹きおとこ」

物語のあらすじ

昔、北ドイツのハーメルンの街には、大量のねずみが住みついで、天井を走りまわったり、パンやチーズをかじったりするので、街の人々はとても困っていました。

「あのねずみ達を何とかしてくれ」と市長に訴えました。

市長は「ねずみの退治をしたら1000ギルダー支払う」と笛吹きおとこと約束しました。笛吹きおとこの吹く不思議な笛の音に誘われて、街中のねずみ達はおとこについていき、一匹残らず川に飛び込んでしまいました。

ところが市長はお金を払うのが惜しくなって、約束のお金を笛吹きおとこに支払いませんでした。すると、今度は子ども達が笛吹きおとこの笛の音に誘れて……



2016年3月に北本市文化センター
ホールで開催された公演風景

(所沢市民文化センター ミューズ)

アクセス情報

西武新宿線・航空公園駅東口より徒歩10分／バス3分

